令和5年度　一般会計等財務書類4表を公表します

笠松町一般会計等財務書類4表について、すべての地方公共団体に適用される総務省の「統一的な基準」に基づき作成しましたので公表します。

一般会計等財務書類4表とは、町の普通会計の資産や負債、行政コスト、資金収支の状況を明らかにするものです。

貸借対照表（バランスシート）

決算期末の財政状態を明らかにするためのものです。

左側の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する際に要した財源の調達状況を表わしています。

令和6年3月31日現在　（単位:千円）

資産の部		負債の部	
1. 有形固定資産	9,755,073	1. 固定負債（将来の負担）	6,992,444
2. 無形固定資産	1,486		
3. 投資など	1,267,818	2. 流動負債（来年度の負担）	649,780
基金（特目）など	1,133,442		
出資金・その他	134,376	負債合計	7,642,224
4. 流動資産	1,729,823	**純資産の部**	
預金	558,530	純資産合計	5,111,976
基金など	1,023,544	（これまでの世代の負担）	
未収金・その他	147,749		
資産合計	12,754,200	**負債・純資産合計**	12,754,200

行政コスト計算書　経常的な費用と収入

行政サービスに費やされた費用（コスト）と、その行政サービスに対する直接の対価（使用料など）を表わしたものです。

経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが純経常行政コストとなります。

自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日　（単位:千円）

経常費用		
1. 人にかかるコスト	人件費など	928,340
2. 物にかかるコスト	物件費、減価償却費、維持補修費など	2,128,934
3. その他のコスト	支払利息など	103,781
4. 移転支出的なコスト	社会保障給付、補助金など	3,997,292
	合計	7,158,347
経常収益		
使用料・手数料、事業収益など		258,628
純経常行政コスト		6,899,719
臨時損失など		0
臨時利益など		45,829
純行政コスト		6,853,890

純資産変動計算書　純資産の増減

資産と負債の差額である純資産の1年間の変動内容を表わしたものです。

自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日　（単位:千円）

期首純資産残高		5,533,982
純行政コスト		△6,853,890
税収など	町税、地方交付税など	5,398,381
国県等補助金	国県補助金など	1,904,438
その他	資産評価差額による変動など	△870,935
期末純資産残高		5,111,976

資金収支計算書　現金の動き

1年間の資金の動きを明らかにする計算書です。

自 令和5年4月 1日 至 令和6年3月31日　（単位:千円）

期首資金残高		487,225
1. 業務活動収支	（収入）町税など（支出）人件費・社会保障給付など	548,495
2. 投資活動収支	（収入）国県補助金など（支出）公共施設整備費など	△198,989
3. 財務活動収支	（収入）地方債発行収入など（支出）地方債償還費など	△354,363
	当期収支	△4,857
本年度末歳計外現金残高		76,162
本年度末現金預金残高		558,530

※財務書類4表（一般会計等・全体会計・連結会計）の詳細は、町ホームページと役場1階の行政情報コーナーで公表しています。